

2024年度 施策マネジメントシート【2023年度実績評価】

作成: 2024年6月5日

施策番号 4-3-1	施策名 環境保全と再生エネルギーの推進	基本目標 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり 政策名 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全
主管課 環境土木課	課長名 橋本 直樹	内線 414
施策関係課		

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果		
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効活用を進めます。		町民・町内の自然環境	・環境への負荷を低減し、自然環境を保全する			町民が住みやすい快適な生活環境を保全する		
成果指標	説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
① 芽室町の景観に満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9 (R3)	86.6				90.0
② 芽室町の自然環境(空気・水・土壤など)に満足している町民の割合	住民意識調査	%	92.9 (R3)	92.7				95.0
③								
成果指標設定の考え方	①美しい景観を維持するための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。 ②恵まれた自然環境を保全し次世代に受け継ぐための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。							

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	9,286	10,591			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価(基準年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②微減→特段の理由なし
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しい <input type="checkbox"/> いが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①②豊かな自然環境という認識はあるが、一部でごみの散乱や空き地の雑草など、景観を損ねる要因がある状況である。それらに対し、町広報誌による周知や道路の路肩の草刈り(モデル地区選定)など、きめ細かく対応する。
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	クリーンめむろ大作戦事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ●環境調査(大気・水質・悪臭・騒音)の実施 →河川改修工事による影響で一部基準値を満たさない箇所もあるが、例年どおり環境基準を満たしている。 ●生活環境の維持 →広報誌において、野焼き禁止やペット飼育のマナー等について周知・啓発を行った。また、不法投棄の多い地区の草刈りを定期的に実施したところ、一定程度の効果が見られた。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)

担当課 評価	住民意識調査の結果は横ばいであるため、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>『施策を取り巻く状況』</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定が決定し、町民の更なる機運醸成を図り、地域の活性化につなげる。 地球温暖化防止実行計画を策定し、2050年までにゼロカーボンに向けた取り組みを推進する。 <p>『今後の予測』</p> <ul style="list-style-type: none"> 日高山脈襟裳十勝国立公園指定により、自然環境や景観の魅力を再認識する契機となる。 地球温暖化による気候変動など、再生可能エネルギー活用の重要性は増している。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの地産地消、持続可能なまちづくりを進めてほしい。→町民、事業者、町が連携して多様なクリーンエネルギーの活用を図り、持続可能なまちづくりを進める。 地球温暖化対策として、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を表明すべきである。→地球温暖化防止計画(区域施策編)の策定において、具体的な取り組みを決定した後に表明する。 街路樹の必要性は理解するが、整備から年数が経過し、大木化していることから、落葉対策や更新計画が必要である。→「緑の基本計画」を見直し、街路樹の更新等について、その計画に追加を検討する。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

●環境美化活動の推進(クリーンめむろ大作戦推進事業、環境審議会運営事業)

地域や各団体で取組む道路・公園等のごみ拾いや清掃活動、花苗植栽活動等を支援・推進するとともに、空閑地所有者への草刈り等の環境整備を促すなど、美しい景観づくりを推進する。また、「ごみ処理基本計画」に基づき、ごみ減量化・資源化に取り組む。

●地球温暖化対策(地球温暖化対策事業)

国や北海道が進めるゼロカーボン政策等を踏まえ、「芽室町地球温暖化防止計画(区域施策編)」を策定し、町としての考え方や方向性を整理する。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 道路のごみについて、広報の仕方を考え町外の方にもアピールをしてほしい。 街中禁煙区域設定を考えいくべきではないか。 落ち葉の掃除が大変、木で信号が見えないことがあるから、本通り街路樹問題解決を希望 私有地で掃除できないため、空き地・空き家対策。 河川の水質問題・ペットマナーについて新しい施策を考えてはどうか。 	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した